

様式1 令和2年度 山梨県立甲府西高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	自主・自律の精神と創造性を尊び、幅広い知性と豊かな人間性の涵養を図るとともに、常に自己と社会をよく見つめ、高い理想のもと広く社会で活躍する人材を育成する。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------

山梨県立甲府西高等学校 校長 手島 俊樹

本年度の重点目標 「自分を律し、自己を高めていく」人間力の育成を目指し、以下に取り組む。	1 学び方を学ばせる視点のもと、主体性を引き出す深い学びを推進し、物事を深く掘り下げ、本質を粘り強く追究しようとする探究的に学びとる力の育成に努める。
	2 自己実現を図る進路目標の設定とその達成に向けた取組を支援し、自分の立ち位置を知り、自己の可能性を切り拓く意欲の醸成に努める。
	3 部活動や学校行事、学校外活動など、様々な経験ができる機会を提供し、他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中で成長できるよう努める。
	4 PTA・同窓会・地域・高等教育機関などとの連携を深め、国際バカロレアの趣旨を生かすなど、時代のニーズに応える特色ある教育活動の構築と推進に努める。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価				年度末評価(〇月〇日現在)		
本年度の重点目標				自己評価結果		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	達成度	成果と次年度への課題・改善策	
1	主体性を引き出す深い学びを推進し、本質を粘り強く追究しようとする探究的に学びとる力の育成	「問いを立て追究する」という生徒の探究力向上を目指し、深い学びを提供する授業改善に取り組む。 より教育効果の高い学習指導に向け、ICTに関する環境整備と職員のスキルアップを図りながらICTの利活用を推進する。 課題論文やIBを中心に据えながら、探究型学習プログラムや教育課程の開発整備に努める。	教員の自己評価 教員アンケート 授業アンケート 教員の自己評価 教員アンケート 授業アンケート 教育課程の編成 課題論文の指導計画 学校評価アンケート			
2	自分の立ち位置を知り、自己の可能性を切り拓く意欲の醸成	生徒の学力向上に資する指導改善に向け、学びの基礎診断の結果をもとに生徒の基礎学力の分析と対策を適切に行う。 進路講演会や進路ガイダンスを適切に配し、入試等への理解度を高めるとともに、目標達成に向けた学力向上に資する課外や講座等の効果的な実施に努める。 目標を意識し、その達成に向けて自主的に取り組む自己管理能力を向上させるため、学習手帳の利用を進め、面談や個別指導等に活用する。	GTZ指標の変動 教員相互の授業評価シート 大学合格状況 学校評価アンケート 学校評価アンケート			
3	部活動や学校行事、学校外活動などにより、他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中での成長を支える	豊かな人間性や人間関係形成力の育成を図るため、学校行事や部活動等のあり方を見直ししながら、生徒の主体的な取組を促す指導を推進する。 社会の一員としての自覚、社会参画への意欲などの醸成に向け、地域貢献や異校種間交流、ボランティア活動など、様々な体験ができる機会の提供に努める。 悩みや問題を抱える生徒の早期発見に努め、教職員が連携を密にしながら、生徒一人一人の学校生活のサポートに努める。	生活実態調査 学校評価アンケート 行事開催状況 学校評価アンケート 生活実態調査 学校評価アンケート			
4	PTA・同窓会・地域・高等教育機関などとの連携を深め、国際バカロレアの趣旨を生かした特色ある教育活動の構築と推進	グローバル化や高度科学技術などに対する素養を身に付けさせるため、同窓会や大学、企業等との連携を図りつつ各種講演会など多様な学びの機会を提供する。 本校の特色化を図り、知的好奇心や探究心などの育成につなげるため、新入生に対してプレIB講座を実施するなど、IBの良さが共有できる教育活動を展開する。 教育活動の充実改善に生かすため、ホームページを単なる情報発信に留めず、双方向的に利用し意見や要望聴取に努めるなどとして、有効に活用していく。	講演会等の実施回数 学校評価アンケート 参加生徒アンケート プレIB講座実績 学校評価アンケート 授業アンケート HPアクセス数 学校評価アンケート			

学校関係者評価	
実施日(令和〇年〇月〇日)	
評価	意見・要望等

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。